



磊々峡谷 写真提供:宮城県観光課

  
**計量みやぎ**

2016.8.15  
 編集発行  
 仙台市太白区長町7-22-23  
 (一)宮城県計量協会  
 TEL 246-2466・FAX 247-1490  
[www.keiryo.net/](http://www.keiryo.net/)

## 第五十九回 定時総会開催

平成二十八年度定時総会は、六月三日「ホテルモントレ仙台」において開催されました。

総会は、笠原副会長が開会を宣し、鍋島会長の挨拶に続いて、計量功労者の表彰に移り、宮城県知事褒賞一名、計量協会長表彰二名、同褒賞五名計八名の方々がそれぞれ受賞され、受賞者を代表して鈴木昇二郎氏が謝辞を述べ、宮城県知事代理の武内純経済商工観光部産業立地推進課副参事兼課長補佐、石川光次郎宮城県議会議員、渡辺博仙台市議会議員から、表彰者への祝辞を頂き表彰式を終了しました。

引き続き、定款に基づき鍋島会長が議長に就き総会議事の審議に入りました。

議案は第一号から第三号までの三案で（後掲）事務局から説明がなされ、それぞれ満場一致で承認されました。

なお、三号議案では、新任理事の選任案が了承され、二名の新役員が選出されました。（後掲）

議案承認後、事務局から公益目的支出計画の実施、本年度事業・収支予算計画、平成二十九年度本県開催東北・北海道計量大会日程等の報告があり、千葉副会長の閉会挨拶で総会は終了しました。

なお、知事から協会への祝辞は、受賞者へのお祝いの言葉と、計量制度は、研究活動、商取引、そして人々の健康と安全の確保や、国民生活の安定に至るまで、広範囲にわたり、その基盤となる重要なものであり、県も適正な計量行政の推進に努めて行くので、計量協会の引き続きの協力要望と協会の発展と会員のご健勝祈念がありました。



第59回定時総会開催



知事褒賞受賞



御来賓の方々

# 計量功労受賞者

宮城県知事褒賞

鈴木 昇二郎氏  
東陽エンジニア(株)

〔一社〕宮城県計量協会会長表彰

尾形 吉信氏  
日東インダ(株)

島津 一裕氏  
北日本環境整備(株)

〔一社〕宮城県計量協会会長褒賞

高橋 晋氏  
(公財)宮城県公害衛生検査センター

堀籠 ゆかり氏  
(公財)宮城県公害衛生検査センター

工藤 直樹氏  
日東インダ(株)

馬場 まゆみ氏  
日東インダ(株)

武田 亨氏  
(株)タツノ東北支店

〔一社〕日本計量振興協会会長表彰

笠原 秀氏  
(五月二十六日東京)

計量士



受賞者の方々



受賞者代表謝辞

## 決議議案等

### 《第一号議案》

平成二十七年年度事業報告について  
平成二十七年年度の会員状況、総会・理事会等の主要会議、計量思想普及啓発事業の計量記念日「2015みやぎ計量のひろば」のイベント開催や主任計量者試験講習会開催、宮城県工業品材料依頼試験受託事業、仙台市指定定期検査機関事業、表彰事業、代検査事業、材料試験機検査事業、計量管理受託事業、優良事業所視察研修会の開催、中央・地方団体との連携、行政機関との諸会議等について、事務局から説明があり異議無く承認された。

### 《第二号議案》

平成二十七年決算報告について  
事業活動収入 九九、一二八千円  
事業活動支出 九七、四九七千円

以上の事業活動等の決算報告について、事務局から説明があり、監事から監査報告がなされ、異議無く承認された。

### 《第三号議案》

役員の一部専任について  
人事異動に伴い辞任した役員の後任理事の提案が事務局から提示され、異議無く承認された。  
(新役員)  
理事・市瀬兼司氏  
(愛知時計電機(株)仙台工場)  
理事・川越振一郎氏  
(エヌエス環境(株)東北支社)

### 《報告事項》

①公益目的支出計画実施報告  
一般社団法人移行時に課せられた公益目的支出事業について、平成二十七年(四年目)の実施状況は計画どおり遂行された旨の報告があった。  
平成二十七年公益目的支出額 一、八三六千円  
(累計九、六二六千円)

当該事業年度末日の公益目的

財産額 六、八三〇千円  
(平成三十年度完了予定)

### ②平成二十八年事業計画

平成二十八年実施事業計画の概要説明があった。(後掲)

### ③平成二十八年度収支予算

平成二十八年度収支予算につ

いて、次のとおり説明があった。

事業活動収入 九八、三九七千円  
事業活動支出 九七、九九七千円

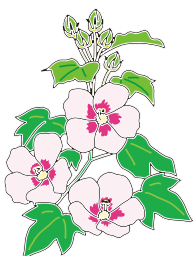
### ④計量功労者の表彰

本年度の知事褒賞・会長表彰・同褒賞受賞者及び〔一社〕日本計量振興協会会長表彰受賞者の功績紹介があった。

### ⑤平成二十八年度 東北・北海道計量大会日程

今年度の東北・北海道計量大会は、山形県山形市で開催され、その日程等の紹介があった。(後掲)  
⑥平成二十九年本県開催東北・北海道計量大会の開催日と会場  
来年度の東北・北海道計量大会は、本県開催で左記により開催されことになりました。  
開催日 平成二十九年 十月五日(木)

会場 秋保温泉「佐勘」



# 平成二十八年 事業計画

平成二十八年度は、円安・原油安を受け計量器業界を含め大企業的好決算が続いているが、業績向上の持続性については不安要素が多く、地方や中小企業の景況感は依然として厳しい状況にあります。

さて、平成二十八年度の当協会の運営は、震災復興の更なる飛躍の創造的復興に向け、計量基盤の堅持と正しい計量思想の普及啓発に努めることを根幹に、会員皆様の連携と相互交流のもと、次の諸事業を推進してまいりますので、なお一層のご理解とご支援をお願い致します。

## 一 計量普及・啓発事業

- 計量記念日事業  
「みやぎ計量のひろば」の開催
- 計量管理優良事業所等の視察研修会開催
- 計量証明事業の主任計量者試験講習会及びレベルアップ講習会の開催
- 計量器コンサルタント資格認定講習会の開催
- 計量に係る資料の作成配布情報の提供

## 二 指定定期検査事業

- 仙台市の指定定期検査機関として、仙台市内の特定計量器(質量計)の定期検査を実施

## 三 計量器検査事業

- 計量士による検査事業  
計量行政機関に代わる質量計の定期検査・計量証明検査を実施
- 今年度検査対象区域は、泉区・宮城野区、若林区の約一、四五〇戸 四、二〇〇台 検査日数約一七〇日

## 四 官公庁受託事業

- 宮城県産業技術総合センターの工業品材料依頼試験業務の受託
- 仙台市の計量器・量目の立入検査補助業務及び基準分銅管理業務の受託

## 五 計量管理事業

- 大規模小売店等の、計量士による計量器の検査及び商品量目の適正計量管理業務の実施
- 日本郵政グループの郵便局等の適正計量管理業務の実施

## 六 収入証紙売りさばき事業

- 宮城県の収入証紙売さばき機関として、材料試験・計量器検定検査等の申請者へ収入証紙の販売

## 七 計量行政並びに関係機関諸会議

- (二社)日本計量振興協会諸会議
- 計量記念日全国大会
- 計量士協会の東北・北海道計量大会
- 東北六県計量士協議会
- 計量士全国大会
- 計量行政、計量技術諸会議等

## 八 計量情報の提供

- 計量情報・会員情報及び協会活動状況を、機関誌ホームページ等で効果的に発信します。

# 計量制度の改善

計量制度は、我が国の国民生活・経済社会における取引の信頼性を確保するという安全・安心の基盤として機能しており、昭和二十六年の計量法制定、平成五年の改正計量法の施行、そして自治事務化、官から民へ段階的に移りながら変遷してきています。

今般、こうした変化に的確に対応した計量法の執行が求められており、経済産業省は平成二十八年五月三日に、今後の計量法施行の在り方について計量行政審議会に諮問し、審議会・基本部会で来年四月公布を目標に改善課題の検討に入りました。

改善課題は大きく三つの視点にしぼり、それぞれ次の事項について協議検討がされております。

### ①民間事業の参入促

- 型式承認(メーカー、第三者機関の試験成績書の活用)
- 指定検定機関(指定要件を緩和し器差検定のみ実施)
- ※都道府県の検定業務の補完

### ②技術革新、社会的環境変化への対応

- 指定製造事業者のISO9001の認証活用
- 計量士登録の実務経験期間の短縮と資格の更新制度導入
- 適正計量管理事業所指定要件にISOの活用
- 基準器とJCS(計量標準供給制度)の共通使用

計量器の技術革新促進のため構造基準の見直し  
計量器の検定検査、修理履歴把握のためICタグ等の導入  
自動はかりの特定計量器指定と検定等規制の検討  
水素燃料用計量器の検定等規制の検討

### ③規制範囲・規定事項等の再整理明確化

- 計量証明事業者の登録設備の見直し、区分の細分化
- 計量証明事業者の検定・検査運用の見直し
- 質量と体積分率の単位表記の明確化検討 (wt, vol%)
- 計量器の修理後の検定までの使用 (タクシーメーターの申請済証票例示)
- 計量器修理者の修理実施表記載
- 非自動はかりの定期検査免除期間の統一(小型はかり等現行三年の検討)
- 計量器販売事業者の購入者連絡義務の検討
- 検定・検査証印の年号表記と表示方の統一
- 商品量目の他法との整理・簡素化、極少量範囲の追加(国際的に1~5g未満)の規制
- 発泡酒、第三のビールの特殊容器の使用
- 登録、認定の電子申請化対応
- 計量行政の広域連合等による補完・協力の検討

## 平成二十八年度

### 第二回 計量証明事業主任計量者試験講習会のお知らせ

平成二十八年度第二回計量証明事業主任計量者試験と、試験講習会は左記日時のとおり行います。主任計量者試験

(実施機関:宮城県計量検定所)  
平成二十八年十月十八日(火)  
午後二時四十五分~  
午後三時四十五分

主任計量者試験講習会  
(実施機関:二社)宮城県計量協会  
平成二十八年十月十八日(火)  
午前十時~午後二時三十分  
※講習会参加希望者は当協会へご連絡下さい。

※詳細は協会ホームページをご覧下さい。  
<http://www.keiyo.net/>

### 計量記念日事業 何でもはかつてみよう コンテスト

十一月一日の「計量記念日」にちなみ、小学生を対象に「もの」を計ることに興味を抱き、新しい発想を生み出すきっかけにしたい「何でもはかつてみよう」コンテストの募集が今年度もはじまりました。

昨年の本県の応募者は奨励賞を受賞し、本県の計量記念日事業計量のひろばイベントでも表彰されました。

会員のお子さんはもちろん、一般の小学生の皆さんの参加応募をお待ちしております。

応募のめりは九月五日です。詳しくは大会事務局のホームページを参照して下さい。



<http://www.nikkeishin.or.jp/>

# みんな集まれ「技術のおもちゃ箱」 一般公開

平成28年宮城県産業技術総合センター 一般公開

**技術のおもちゃ箱**  
2016.7.2(土)

場所 宮城県産業技術総合センター  
参加費 無料  
時間 10:00～16:00 (受付は9:30まで)

宮城県産業技術総合センターの設備を使い、工業製品から食品まで「ものづくり」の楽しさに触れながら実演紹介します。展示の体験ももちろん用意しています。

当協会泉分室がある宮城県産業技術総合センターで、去る七月一日(金)、二日(土)の両日、「一般公開「技術のおもちゃ箱」が開催されました。

この一般公開は主に県民、特に青少年を対象として技術とふれあう場を提供し、来所された皆様に産業技術を身近に感じていただくと共に、センターの事業内容を広く県民に紹介して、ご理解い



宮城県産業技術総合センター

ただくために開催されているものです。

初日の一日(金)は近隣の小学生(六年生)を招待して、「工業製品から食品まで」に及ぶ当センターの設備・機器を利用した「ものづくり」の楽しさに触れながら様々な成果物の展示と実演紹介・事業紹介、及び県が認定したりサイクル製品の展示と紹介がありました。

二日(土)にはセンター内の泉分室においても「びっくり!鉄が切れる瞬間!もの強さを調べる引張試験」というテーマを掲げ建築・土木材料の鉄筋の引張試験の実演を行いました。

この実演では、普段滅多に体験出来ない数十トンにも及ぶ鉄筋破断の瞬間を、今か今かと構え「バチーン!!!」という破裂音が起こる度に、見学者すべての老若男女が喚声を上げる驚きの様子がありありと伺われました。

また当センター職員の協力もあり、ビニール片を用いて両手で引っ張ってもらい、塑性変形することや弱いところから破断する様子も体験してもらいました。

乗ってみよう燃料自動車などの催し物コーナーがあり、雄勝石のフォトフレーム作りや水素燃料電池自動車のカーキットの組み立てなど、多くの見学者で賑わっていました。

そのほかにも沢山の展示品や実演・体験コーナーがあり、多くの見学者が興味深く見入っており好評のうちに終了しました。



鉄筋破断試験の実演



ようこそ むすび丸祭りバージョン



ちなみにタニタ本社受付で 迂闊に変なところに立つと 体重測られます。



管理! “ さすがタニタ食堂の健康計量 管理の会社と改めてその発想に 感心しました。

## 計量業界ニュース

を常身に身近な決まった場所にあることで、こまめに自分の体重を測って健康管理につなげていただきます。

「一日一回体重を測って健康管理!」

「次世代農業EXPO展」で紹介しました。同社では他にも、アスパラ重量選別機、種子馬鈴薯の選別・箱詰め・管理ライン機械も販売しています。

五月二十日「世界計量記念日」にちなんだタニタの公式ツイッターのつぶやきです。

これは、タニタ本社の受付前の敷き詰められた白いタイルに一つだけ黒い帯のようなタイルがあります。実は同社がつくった体重計なのです。この部分に乗ると黒いLED表示部分に自分の体重が表示される仕組みになっています。

なぜ受付の傍らに体重計を... タニタ本社の説明によると、建物と一体化した商品を作ることで、これからのリフォームや建て替えのデザインを選択技としての狙いもあるが、それより体重計は使うときだけ出して、それ以外のときはしまっておき、つい面倒くさくなったり、どこに置いたか分からなくなったりして利用する機会が減ってしまう。これを常に身近な決まった場所にあることで、こまめに自分の体重を測って健康管理につなげていただきます。

変なところに立つと 体重測られます!



「次世代農業EXPO展」で紹介しました。同社では他にも、アスパラ重量選別機、種子馬鈴薯の選別・箱詰め・管理ライン機械も販売しています。



【次世代農業EXPO】 トウモロコシを見極めろ

スーパードに山積みになっているトウモロコシ売り場で「どうぞ皮をむいて持って行ってください」と書かれているのを見かけるが、こうしたサービス商法が問題を起している。

主婦の方たちはトウモロコシの先端をむいて実が詰まっているなかつたら購入をやめてしまう。その結果先端の皮がむかれた商品だけが売れ残るということになり、消費者からスーパーに、スーパーから生産者にクレームが発生することになる。

そこでトウモロコシの産地、北海道の旭川計量機(株)は、X線によってコーンの先端に実が詰まっているかどうかを判別、加えて形状・重量・長さによってランクを選別する一分間に六十本選別できる、最適な商品を出荷する「スイートコーンX線検査選別システム計量器」を紹介しました。同社では他にも、アスパラ重量選別機、種子馬鈴薯の選別・箱詰め・管理ライン機械も販売しています。

# 11月1日は計量記念日



社会生活の中にある様々な計量についての基盤を支えているのが計量法で、この計量制度の重要な役割を広く知っていただくため、現在の計量法が施行された平成5年11月1日を「計量記念日」と定め、経済産業省、全国の計量行政機関、計量関係団体は計量思想普及啓発のイベントを開催しております。

今年の本県の記念日事業は、仙台市八木山動物公園で『動物と計量・ふれあいひろば』をテーマとして計量に関心を持っていただくイベントを行いますので、たくさんの皆様のご来場をお待ちしております。

**日時** 平成28年10月29日(土)  
10:00~14:00  
**場所** 仙台市八木山動物公園  
仙台市太白区八木山本町1-43



動物の重さ当てクイズ



八木山動物公園広場



子供の血圧測定



江戸時代徳川幕府は経済統制管理の一貫として、江戸と京都の東西に秤座(はかりぎ)というはかりの製造・販売・はかり改め(検査)・不良計量器の没収権限制度を設けました。この許認可を受けた東の初代は守随信義という方で、現在の計量器メーカー(株守随本店)の先祖様です。

このはかりの改めは江戸・京都では定期的に行われましたが地方は巡回方式で実施されました。検査の周期は七、八年から二十年に一回ぐらいの割合でした。これが江戸時代の定期(検査)の周期は明確でない(不定期?)検査でした。

秤座以外ではかりを製作した者ばかりでなく、それを使った者も死罪の刑罰になったそうです。なんと重たい刑罰だったのでしょうか。

その厳しい取り調べの様子がワンダーランド日光江戸村の人形模型で再現されておりました。

## 江戸時代の はかりの定期検査

先日協会に計量スプーンで塩を測って料理したが薄味になった。スプーンの容量は確かなのかという問い合わせがあったので、調味用計量器(計量カップ・スプーン)についてお話ししましょう。

現在使用されている調味用計量器は、女子栄養大学創立者の香川綾さんが、我が国のメートル法普及定着に計量協会等計量行政・団体が活発に普及運動を実施していた頃の、尺貫法ヤード・ポンド法・メートル法が渾然としている時代(一九四八年)に予防医学の見地から栄養学の重要性を痛感し、栄養所要量を算定するには「正確な計量」が欠かせないと考案したもので、日本での標準的な規格になったものだと思います。

ちなみに日本でメートル法の使用が法律で義務化になったのは、計量法制定の一九五一年(昭和二十六年)六月七日、全国一斉に完全実施されるようになったのが一九五九年です。

調味用計量器は容量であって重量ではないので、グラム等重さの材料の計量は単純に計算出来ません。

水の計量の場合は小さじ一杯で五グラム、食塩だと六グラムになります。

標準の分量は  
大さじ 15cc  
小さじ 5cc  
小さじ 1/2 5cc  
小さじ 1/3 3.3cc  
小さじ 1/4 2.5cc  
小さじ 1/5 2cc  
小さじ 1/6 1.7cc  
小さじ 1/8 1.25cc  
小さじ 1/10 1cc

※計量スプーンは、すりきりで測ること。  
参考には、計量スプーンが無いときは、ペットボトルのキャップが七、五cc、二杯で大きなので目安になりますよ。

## 計量一口メモ 調理用計量器



計量行政機関等の動向

●宮城県計量行政機関等の計量連  
絡協議会規約の制定

宮城県計量検定所、仙台市消費生活センター並びに仙台市指定定期検査機関の(一社)宮城県計量協会の三社は、これまでも計量法の規定に基づいた計量行政に係わる連絡調整協議を毎年実施してきましたが、この法規制が廃止されたことに伴い、県内の計量行政連絡提携を緊密にし、計量行政の運営の発展向上のために、引き続き当該三者協議会を実施する規約を平成二十八年五月三十一日に決めました。

●中元期の商品量目の立入検査の実施

宮城県計量検定所並びに仙台市消費生活センターでは、中元期にあたりスーパー・百貨店や食品製造工場などの、商品量目や使用している計量器の立入検査を中元期に実施しております。

●計量証明事業主任計量者等のレベルアップ講習会開催

一般計量証明事業登録事業場の主任計量者等を対象に、計量法の動向や適正な計量器の保守管理等、五年以上前に登録された事業場の主任計量者を対象に、宮城県計量検定所では登録事業場の主任計量者に計量関係講習会受講希望のアンケート調査を行いました。その結果、半数以上の希望があったので、協会計量士によるレベルアップ講習会を本年度十一月頃開催することにしました。

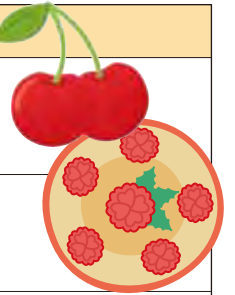
平成28年度 東北・北海道計量大会等日程

本年度の大会は、蔵王連峰を囲むお隣の山形県山形市で開催されます。

日程表

期 日 平成28年10月6日(木)～7日(金)  
会 場 山形県山形市十日町4-2-7 『ホテルキャスル』

期日	時 間	行 事 名
10月6日(木)	12:30～13:15	受付
	13:30～14:30	東北・北海道計量大会
	14:45～15:30	第65次東北六県北海道計量協会連合会総会
	15:45～15:30	記念講演 講師 元加茂水族館(クラゲ)館長 村上龍男氏
	18:30～20:30	歓迎レセプション 交流会
10月7日(金)	8:30～13:30	体験学習 (山形そば手打講座) 「宮川製粉」 山形県寒河江市中央工業団地166 旧・済生館



旧・済生館

計量器コンサルタント  
資格認定講習

計量器ユーザーのニーズに対応する適切なコンサルタントと情報提供ができる販売者を育成するための資格認定講習が、去る八月九日仙台市で開催されました。金井計量管理事務所の金井計量士による講義で習得した計量の知識を生かした計量器コンサルタントの方々が認定され、今後の活躍が期待されます。

平成二十八年年度  
優良事業所視察研修会のお知らせ

本年度の優良事業所視察研修会は、左記のとおり茨城県方面の企業視察を計画しておりますので、会員の多数参加をお待ちしております。

日時 平成二十八年十一月十日(木)～  
十一日(金)  
視察先 東海村東京電力常陸  
那珂火力発電所  
日本タンク装備(株)



磊々峡谷

(表紙写真説明)

仙台の奥座敷、秋保温泉地区を流れる名取川の秋保石の大地を侵食して作られた奇岩が並ぶ峡谷です。来年は、この青葉がほんのり紅く色付く頃、本県開催の東北・北海道計量大会が開催される地です。



編集後記

国民生活・経済社会の信頼、安全・安心の基盤となる計量制度。昭和二十六年の計量法制定、平成五年の改正計量法、地方分権一括法による自治事務化による影響と様々変遷して来ましたが、この計量制度を、現在の計量を取りまく状況の変化や今後の在り方について改善しようとする計量行政制度の改善が、来年度に向けて行政審議会等で協議検討されておりますが、緩みのない、計量現場の将来をしっかりと見すえたものにしてほしいと願います。

来年度といえば、地方の計量活動の発展向上を目指す、東北・北海道計量大会が本県主催で七年ぶりに催されます。会員一丸となり、来仙する方々を精一杯おもてなししたいと思います。

